

病院における小児科及び新生児科の診療体制に係る調査

病院名：

住 所：〒

電話番号：

問1. 現在、小児科を標榜していますか

- 1 () 標榜している → 問 2. へ
- 2 () 標榜はしているが休診中もしくは現在は診療実績がない
- 3 () 標榜していない

→ 2, 3 を選択された場合は、以後の回答は全て不要です。
そのまま回答を御返送下さい。

問2. 現在の小児の診療状況について当てはまるものを選択してください

- 1 () 一般小児科診療を中心に行っている
- 2 () 重症心身障害児の診療を行い、一般小児診療も一部行っている
→ 1, 2 を選択された場合は、問 3. へ
- 3 () 重症心身障害児診療のみを行っており、一般小児診療は行っていない
→ 3 を選択された場合は、問 58～65. へ
- 4 () 精神科診療のみを行っており、一般小児診療は行っていない
- 5 () その他 ()

→ 4, 5 を選択された場合は、以後の回答は不要です。
そのまま回答を御返送下さい。

病院全体について（事務の方または医師が記入）

問3. 下記の医療機関情報について記入してください

医療機関コード		
電話番号		
施設名		
施設の所在地	〒	
開設者 1～26 にあてはまるもの一つに○ *の開設者のうち、医育機関の場合には 27 にも○	1. 厚生労働省 2. 独立行政法人国立病院機構 3. <u>国立大学法人*</u> 4. 独立行政法人労働者健康福祉機構 5. 国立高度専門医療研究センター 6. 独立行政法人地域医療機能推進機構 7. その他（国が開設者） 8. <u>都道府県*</u> 9. <u>市町村*</u> 10. <u>地方独立行政法人*</u> 11. 日赤 12. 済生会 13. 北海道社会事業協会 14. 厚生連 15. 国民健康保険団体連合会 16. 健康保険組合及びその連合会 17. 共済組合及びその連合会 18. 国民健康保険組合 19. 公益法人 20. 医療法人 21. <u>私立学校法人*</u> 22. 社会福祉法人 23. 医療生協 24. 会社 25. その他の法人 26. 個人 27. 医育機関（再掲）	
許可病床数	精神病床	床
	感染症病床	床
	結核病床	床
	療養病床	床
	一般病床	床
	合計	床
病院全体の医科の医師数（常勤換算）※	人	
医科の臨床研修医※	人	
地域医療支援病院	あり なし	
救急告示病院	あり なし	
在宅療養支援病院	あり なし	
在宅療養後方支援病院	あり なし	

※ 2019 年 10 月 1 日現在の常勤換算（週 30 時間を常勤 1 人分としてください）人数を記入

問4. 救命救急センターはありますか (ある ない)
ある場合、種別はどれですか (1. 高度 2. 通常 3. 地域)

問5. 小児救命救急センターはありますか (ある ない)

問6. ドクターヘリ基地病院ですか (はい いいえ)

問7. ドクターカー基地病院ですか (はい いいえ)

問8. 周産期母子医療センターはありますか (ある ない)
ある場合、種別はどれですか (1. 総合 2. 地域)

問9. 災害拠点病院ですか (はい いいえ)
はいの場合、種別はどれですか (1. 基幹 2. 地域)
はいの場合、災害派遣医療チーム（日本または都道府県 DMAT）を保有していますか (はい いいえ)
保有している場合、その中に小児科医は含まれていますか (はい いいえ)
小児外科医は含まれていますか (はい いいえ)
病院に衛星電話が備わっていますか (はい いいえ)
災害時小児周産期リエゾンがいますか (はい いいえ)
はいの場合、小児科医 (名) 新生児医 (名) それ以外 (名)

問10. へき地医療拠点病院ですか (はい いいえ)

問11. 院内に以下の教育施設はありますか (複数回答、あるものに○)

- 1 () 院内学級 (小学) 2 () 院内学級 (中学) 3 () 院内学級 (高校)
4 () 訪問学級 (小学) 5 () 訪問学級 (中学) 6 () 訪問学級 (高校)

病院全体の勤務医の勤務状況 (事務の方または医師が記入)

問12. 2019年7月1日から9月30日の間の、病院医科常勤医全体の1か月当たりの平均当直日数
月平均 () 日

問13. 2019年7月1日から9月30日の間の、病院医科勤務医全体の1か月当たりの平均時間外労働時間
月平均 () 時間

算定している項目を全て選択してください (事務の方または医師が記入)

問14. 病院全体の看護師比率はどれに該当しますか (小児入院医療管理料算定病棟を除く)

- A100・1・イ () 急性期一般入院基本料 1 A100・1・ロ () 急性期一般入院基本料 2
A100・1・ハ () 急性期一般入院基本料 3 A100・1・ニ () 急性期一般入院基本料 4
A100・1・ホ () 急性期一般入院基本料 5 A100・1・ヘ () 急性期一般入院基本料 6
A100・1・ト () 急性期一般入院基本料 7 A100・2・イ () 地域一般入院基本料 1
A100・2・ロ () 地域一般入院基本料 2 A100・2・ハ () 地域一般入院基本料 3

問15. DPCを採用していますか (はい いいえ)

採用開始日 () 年 () 月

- 医療機関群 1 () 大学病院本院群 (Ⅰ群) 2 () DPC 特定病院群 (Ⅱ群)
3 () DPC 標準病院群 (Ⅲ群)

問16. 採用している加算や特定入院料等を全て選択してください

- A200 () 総合病院入院体制加算 A204 () 地域医療支援病院入院診療加算
A204-2 () 臨床研修病院入院診療加算 A205 () 救急医療管理加算
A206 () 在宅患者緊急入院診療加算 A207 () 診療録管理体制加算
A207-2 () 医師事務作業補助体制加算 A211 () 特殊疾患入院施設管理加算
A224 () 無菌治療室管理加算 A226-2 () 緩和ケア診療加算+小児加算
A230-4 () 精神科リエゾンチーム加算 A231-2 () 強度行動障害入院医療管理加算
A231-4 () 摂食障害入院医療管理加算 A232-1 () がん診療連携拠点病院加算
A233-2 () 栄養サポートチーム加算 A242 () 呼吸ケアチーム加算
A245 () データ提出加算 A246 () 入退院支援加算
A300 () 救命救急入院料 A303 () 総合周産期特定集中治療室管理料

問17. 算定している管理料全てに丸をつけて、小児入院医療管理料については該当病床数を記載してください

- A307・1 () 小児入院医療管理料 1 () 床 A307・2 () 小児入院医療管理料 2 () 床
A307・3 () 小児入院医療管理料 3 () 床 A307・4 () 小児入院医療管理料 4 () 床
A307・5 () 小児入院医療管理料 5 () 床 A307・注 4 () 重症児受入体制加算
A100 () 一般病棟入院基本料 A101 () 療養病棟入院基本料
A103 () 精神病棟入院基本料 A104 () 特定機能病院入院基本料
A105 () 専門病院入院基本料 A106 () 障害者施設等入院基本料
A212 () 重症児・準重症児加算 A309 () 特殊疾患病棟入院料
A311-4 () 児童・思春期精神科入院医療管理料

- 問18. 小児科外来診療料（3歳未満包括医療）（B-001-2）を採用していますか
（ している していない ）
- 問19. 地域連携小児夜間・休日診療料（B001-2-2）を算定していますか（いずれかに○）
1（ ）算定していない 2（ ）地域連携小児夜間・休日診療料1を算定
3（ ）地域連携小児夜間・休日診療料2を算定
- 問20. 小児特定集中治療室管理料（A301）に関して、管理料全てに○をつけて、該当病床数を記載してください
特定集中治療室管理料1（ ）、（ ）床
特定集中治療室管理料2（ ）、（ ）床
特定集中治療室管理料3（ ）、（ ）床
特定集中治療室管理料4（ ）、（ ）床
- 問21. 救命救急入院料（A300）に関して、入院料全てに○をつけて、該当病床数を記載してください
救命救急入院料1（ ）、（ ）床
救命救急入院料2（ ）、（ ）床
救命救急入院料3（ ）、（ ）床
救命救急入院料4（ ）、（ ）床

小児科の診療状況（事務の方または医師が記入）

- 問22. 2018年4月1日から2019年3月31日までの間の小児科の外来患者延べ数は何名ですか
（外来診療なしの場合は0名） 延べ（ ）名
- 問23. 2018年4月1日から2019年3月31日までの間の小児科の外来診療における 20歳以上の患者の
毎月の割合はどのくらいですか（外来診療なしの場合は0%）月平均（ ）%
- 問24. 2018年4月1日から2019年3月31日までの間の小児科の退院患者延べ数は何名ですか
（入院診療なしの場合は0名、入院中の者は除く） 延べ（ ）名

小児科医師数について（事務の方または医師が記入）

- 問25. 2019年10月1日時点の小児科医師および新生児科医の医師数についてご記入下さい
（本調査の「常勤」とは、週30時間がかつ4日以上、実際に勤務する者。給与体系は常勤扱いだが
休業中や時短勤務の者は非常勤としてカウント。初期臨床研修医は除く。すべて重複可。スポット
医師のみの場合は最後の選択肢を選択）

一般小児科医の数（新生児科が独立している場合は含めない、初期臨床研修医は含めない）

常勤小児科医 合計人数	男： 名 女： 名	非常勤小児科医 合計人数	男： 名 女： 名
新生児専任医（再掲）	（うち 男： 名 女： 名）	新生児専任医（再掲）	（うち 男： 名 女： 名）
日本小児科学会専門医 取得医（再掲）	（うち 名）	日本小児科学会専門医 取得医（再掲）	（うち 名）
日本小児科学会指導医 （再掲）	（うち 名）	日本小児科学会指導医 （再掲）	（うち 名）
厚生労働省臨床研修指 導医（再掲）	（うち 名）	厚生労働省臨床研修指 導医（再掲）	（うち 名）

（ ）スポット（他施設からの派遣等）のみで連勤者はいない

新生児科医の数（新生児科が独立している場合にのみ記入。初期臨床研修医は含めない）

常勤新生児科医 合計人数	男： 名 女： 名	非常勤新生児科医 合計人数	男： 名 女： 名
日本周産期・新生児医 学会専門医（新生児） 取得医（再掲）	（うち 名）	日本周産期・新生児医 学会専門医（新生児） 取得医（再掲）	（うち 名）

（ ）スポット（他施設からの派遣等）のみで連勤者はいない

小児科医の勤務状況（事務の方または医師が記入）

問26. 日当直に従事した時間を時間外労働として手当を支給していますか？（はい いいえ）

問27. 2019年9月1日から9月30日の間の、小児科医の1か月当たりの平均時間外労働時間
月平均（ ）時間

問28. 一般小児科（新生児科を除く）の勤務体制はどれですか

- 1（ ）日当直制 → 問29. へ
2（ ）シフト制（交代勤務） →
3（ ）いずれでもない → 問37. へ（問29～36. は回答不要）

小児科の日当直体制について（事務の方または医師が記入）

問29. 2019年7月から9月の間の、小児科としての1か月当たりの平均当直日数（小数点以下四捨五入）

- 1（ ） 当直なし 2（ ） 2日以内 3（ ） 3～4日
4（ ） 5～6日 5（ ） 7～9日 6（ ） 10～14日
7（ ） 15～19日 8（ ） 20日以上 9（ ） 毎日当直あり

問30. 2019年7月から9月の間の、小児科としての1か月当たりの平均日直日数（小数点以下四捨五入）

- 1（ ） 日直なし 2（ ） 2日以内 3（ ） 3～4日
4（ ） 5～6日 5（ ） 7～9日 6（ ） 10～14日
7（ ） 15～19日 8（ ） 20日以上 9（ ） 毎日日直あり

問31. 毎月必ず日当直を行う小児科常勤医の人数

（ ）名 うち女性医師（ ）名

上記医師1人当たりの1か月の平均日当直回数（小数点以下四捨五入）

- 1（ ） 日当直なし 2（ ） 2回以内 3（ ） 3～4回
4（ ） 5～6回 5（ ） 7～9回 6（ ） 10回以上

問32. 2019年9月1日から9月30日の間の、小児科医の1か月当たりの平均オンコール回数（日当直体制等でオンコールがない場合は「6. オンコール体制なし」を選択。小数点以下四捨五入）

- 1（ ） 0回 2（ ） 1～3回 3（ ） 4～6回
4（ ） 7～9回 5（ ） 10回以上 6（ ） オンコール体制なし

問33. 小児科の日当直体制について（いずれかに○、その他の場合は具体的に）

- 1（ ） 小児科医のみで365日24時間体制（1名以上の小児科医が院内に常駐している体制）で勤務し日当直を行っている → 1日当たりの平均日当直人数（ ）名
2（ ） 輪番日などの特定の日のみ日当直をしている
3（ ） 日当直はしていない
4（ ） その他（ ）

問34. 当直担当医以外が、夜間や休日にオンコールで呼ばれることはありますか

- 1（ ） 時間外は当直医が受け持ち、原則主治医はオンコールされない
2（ ） 受け持ち患者については、主治医がオンコールされる
3（ ） その他（ ）

問35. 小児科当直翌日の勤務について（いずれかに○）

- 1（ ） 休日としている 2（ ） 午後半休 3（ ） 業務内容配慮
4（ ） 通常勤務

問36. 小児科医は病院全体の日当直に参加していますか（ ）（ ）（ ）

小児科の時間外診療について（事務の方または医師が記入）

問37. 6歳未満小児患者の時間外受入れは行っていますか（いずれかに○）

- 1（ ） 外来のみ受け入れ
2（ ） 入院のみ受け入れ
3（ ） 外来も入院も受け入れ
4（ ） 原則として受け入れない → 問38. へ
→ 問41. へ（問38.～40. は回答不要）

問38. 6歳未満小児患者を受け入れている場合、時間外受診受け入れの対象はどれですか

- 1（ ） 制限なし 2（ ） 紹介患者のみ 3（ ） 自院通院患者のみ

問39. 6歳未満小児患者の時間外受診で最初に対応する医師は誰ですか（初期臨床研修医を除く）

- 1 () 日当直の小児科医
2 () シフト勤務（遅番、早番として通常勤務）の小児科医
3 () オンコールの小児科医 4 () 病院全体の日当直医（小児科医以外も含む）
5 () その他 ()

問40. 貴施設の6歳未満小児患者の時間外診療に院外の医師が参加していますか

(している していない)

参加している場合、月当たりの院外参加医師の延べ人数 延べ () 名

小児科の外来診療について（事務の方または医師が記入）

問41. 小児科の外来診療を行っていますか

- 1 () 行っている → 問 42. へ
2 () 行っていない → 問 48. へ（問 42～47. は回答不要）

問42. 公示している小児科外来診療時間が含まれる区分を選び、そのコマを担当している医師の種別を以下の（A）～（C）から選び記入して下さい（診療の無いコマは斜線を引いてください）

「夕診」とは18時以降に実施している通常外来のことで、救急外来や輪番当番等の臨時的な時間外診療とは異なります

（A）必ず小児科医が担当 （B）小児科医または他科の医師が担当 （C）小児科医以外が担当

	月	火	水	木	金	土	日
午前診（正午までの間）							
午後診（正午～18時までの間）							
夕診（18時以降）							

() 小児科外来は不定期に実施している

問43. 自治体から依頼された定期健診を含む一般の乳児健診を行っていますか（フォローアップに伴う健診は除く） (している していない)

問44. 一般診療とは区別した予防接種のみの外来を行っていますか (している していない)

問45. 2018年4月1日から2019年3月31日までの間で、小児慢性特定疾病を理由とした小児科療養指導料（B001・5）を算定できる患者はいますか (いる いない)

問46. 15歳未満の小児の在宅医療（在宅自己注射を除く）を行っていますか (している していない)

問47. 訪問診療（往診）を行っていますか (している していない)

小児科の入院診療内容について（事務の方または医師が記入）

問48. 小児科の入院診療を行っていますか

- 1 () している → 問 49. へ
2 () していない → 問 66. へ（問 49～65. は回答不要）

問49. 6歳未満小児（新生児を含む）の入院を行っていますか (している していない)

問50. 付き添い不要の入院を行っていますか (している していない)

問51. 病棟にプレイルームはありますか (ある ない)

問52. 病棟に保育士は何人いますか（いない場合は0名） () 名

問53. 最も小児患者が入院する病棟について

- 1 () 小児科のみの単科病棟 2 () 小児患者だけの混合病棟
3 () 一般病棟にある小児専用病室 4 () 一般病床を成人と共用

問54. 小児科が利用できる最大病床数（新生児病床を除く） () 床

問55. 2019年10月1日現在、小児科が利用している病棟（新生児病床を除く）に、90日以上人工呼吸器を装着している小児科患者はいますか (いる いない)

いる場合 A. 15歳未満 () 名 B. 15以上20歳未満 () 名
C. 20歳以上 () 名

- 問56. 2019年7月1日から2019年9月30日までの間で、小児科の入院に占める15歳以上の患者の割合は、月平均どのくらいですか 平均 () %
- 問57. 2018年10月1日から2019年9月30日までの間で、小児慢性特定疾病医療支援の対象であることを理由とした小児入院医療管理料(A307)が算定できる15歳以上20歳未満の患者が入院したことがありますか (ある ない)
- 問58. 重症心身障害児などの小児が入院できる慢性特殊疾患を対象とする病棟がありますか (ある ない)
- ある場合、当該患者が入院できる病床数 () 床
- ある場合、障害者施設等入院基本料を換算できる病床数 () 床
- ある場合、2019年10月1日現在、病棟に 90日以上人工呼吸装置を装着している小児科の患者はいますか (いる いない)
- いる場合 A. 15歳未満 () 名 B. 15以上20歳未満 () 名
C. 20歳以上 () 名
- 問59. 2019年10月1日時点で、小児科(新生児を除く)の入院に占める長期入院(6か月以上)患者の割合はどのくらいですか () %
- 問60. 自院のかかりつけでない重症心身障害児の緊急入院を受け入れていますか (受け入れている 受け入れていない)
- 問61. 家族の休息(レスパイト)を目的とした重症心身障害児等の入院を行っていますか (行っている 行っていない)
- 問62. 2018年10月1日から2019年9月30日までの間に、虐待等の社会的理由による入院がありましたか (あった なかった)
- 問63. 小児科病棟に専属の医師事務作業補助者がいますか (いる いない)
- 問64. 小児科病棟に退院調整看護師はいますか (いる いない)
- 問65. 小児の長期入院患者の退院や在宅医療への橋渡しを目的とした中間施設の運用を行う病室はありますか (ある ない)
- ある場合、どのような運用を行っているか具体的にお書き下さい
()

新生児の入院診療について(事務の方または医師が記入)

- 問66. 独立した新生児診療チームがありますか (ある ない)
- 問67. 生後7日以内の新生児(正期産児含む)の入院治療を行っていますか
1 () 行っている → 問68へ
2 () 行っていない → 問79へ(問68～78. は回答不要)
- 問68. 新生児医療を行う病棟について(いずれかに○)
1 () 独立した新生児病棟がある(独立した看護単位がある)
2 () 小児科の属している病棟に併設(小児科の看護師が業務を兼任)
3 () 産科の属している病棟に併設(産科の看護師が業務を兼任)
4 () その他
- 問69. 新生児が入院できる総病床数(管理料算定の有無は問わない) () 床
そのうち、NICUとして利用している病床数(管理料算定外も含む) () 床
そのうち、GCUとして利用している病床数(管理料算定外も含む) () 床
- 問70. 新生児特定集中治療室管理料1(A302・1)または総合周産期特定集中治療室管理料(A303)を算定している病床数 () 床
- 問71. 新生児特定集中治療室管理料2(A302・2)を算定している病床数 () 床
- 問72. 新生児治療回復室入院管理料(A303-2)を算定している病床数 () 床
- 問73. 2019年10月1日現在、新生児病棟に 180日以上人工呼吸器を装着している暦年齢3歳未満乳幼児はいますか (いる いない)
- 問74. 2019年10月1日現在、新生児病棟に1年以上入院している患者はいますか () 名
- 問75. 新生児病棟に専属の医師事務作業補助者がいますか (いる いない)
- 問76. 新生児病棟の長期入院患者の退院や在宅医療への橋渡しを目的とした中間施設の運用を行う病室はありますか (ある ない)

ある場合、どのような運用を行っているか具体的にお書き下さい

()

問77. 新生児病棟に退院調整看護師はいますか (いる いない)

問78. 新生児病棟専属の保育士および心理士はいますか (いない場合は0名)

保育士 () 名 心理士 () 名

その他 (事務の方または医師が記入)

問79. (1)2018年10月1日から2019年9月30日までの間に、18歳未満の死亡例は何例ありましたか。
死亡診断書・死体検案書を記載した例に加えて、死亡診断をした例も含みますが、死産例は含み
ません (なし・あり () 例))

(2) そのうち、貴院では原因が特定できなかつた (明らかな内因死や事故死でない) 18歳未満
の死亡例は何例ありましたか。死亡診断書・死体検案書を記載した例に加えて、死亡診断をした
例も含みますが、死産例は含みません (なし・あり () 例))

問80. 2018年10月1日から2019年9月30日までの間に、児童相談所と相談した症例は何件ですか (な
い場合は0件) () 件

問81. 院内に小児患者と関わることができる以下の職種の方は勤務していますか (常勤・非常勤問わず)

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|--------------|
| 1 () 病棟 (医療) 保育士 | 2 () 医療保育専門士 | 3 () 心理士 |
| 4 () ソーシャル・ワーカー | 5 () チャイルド・ライフ・スペシャリスト | |
| 6 () ホスピタル・プレイ・スペシャリスト | 7 () 子ども療養支援士 | |
| 8 () 理学療法士 | 9 () 作業療法士 | 10 () 言語療法士 |

問82. 貴病院は臓器提供病院となっていますか? (はい いいえ)

はいの場合、15歳未満に対応していますか? (はい いいえ)

問83. 子ども虐待に対応する院内組織もしくは委員会等がありますか? (はい いいえ)

はいの場合、どのような職種が含まれるか○をつけてください。

(小児科医 看護師 心理士 ソーシャルワーカー 事務職 その他 ())

質問は以上です。

記入完了日： 年 月 日

※ご回答頂きました内容について、お問い合わせをすることがございます。

ご担当者様のご所属、お名前、連絡先をお知らせ下さい (下記の内容につきましては、本調査の問
い合わせ以外では使用致しません)。

ご所属： _____

お名前： _____

E-mail： _____

令和元年 12 月 8 日 (日) までに日本小児科学会へご返答下さい

御協力ありがとうございました。